

## LiveOn 業種別導入事例集

**JMS** ジャパンメディアシステム株式会社



■ 製造・メーカー

[P.3 ~ P.4](#)

■ 医療・福祉・製薬

[P.5](#)

■ 情報・通信

[P.6](#)

■ 卸小売・販売

[P.7](#)

■ 建設・不動産

[P.8](#)

■ 官公庁

[P.9](#)

■ 教育・学習支援

[P.10 ~ P.11](#)

■ 大学

[P.12](#)

■ 公益法人・団体

[P.13~P14](#)

■ 金融機関・その他

[P.15](#)

## 株式会社ワコールホールディングス 様

毎日のスケジュール管理や進捗管理に利用  
海外拠点・海外工場との国際電話代わりにも



主に営業担当者による会議に活用。  
代表的な利用例としては、営業日の朝に東京・大阪・京都・福岡の各拠点において、それぞれ5名前後の担当者がLiveOnを利用し、日々スケジュール管理や進捗管理の打合せを開催。

他にもスタッフ部門間でのミーティングや国際電話代わりとして海外拠点・海外工場と結んで利用。

導入の経緯としては、ビジネスインフラ改革プロジェクトの一環として、“出張経費削減”、“コミュニケーション向上による生産性の向上”を目的にWeb会議システムの検討を開始。

**10社程の製品を検討**した中で、LiveOnを選んだ理由としては、

- ① **エンドユーザーにとって操作が容易であること**
- ② **音声・映像の品質が低帯域の環境においても利用出来る仕組みであること**
- ③ **クライアントPCに展開するにあたり、最も展開工数が掛からない事** が挙げられる。

## トヨタ自動車東日本株式会社 様

スマートフォンで車体や部品を映しながらWeb会議  
離れた場所からでも現場と同じ目線で製品を確認



トヨタ自動車東日本  
TOYOTA MOTOR EAST JAPAN

製造現場と開発部門との会議で活用。

製品を映す必要があるため、製造現場からはスマートフォンで接続し、高精細なハイビジョン画質で車体や部品を映している。

手振れ補正のスタビライザーとセットで活用することで、高精細かつ安定した映像でのやり取りを実現。

高精細な映像かつスマートフォンでの接続となるため、回線が不安定な環境下でも安定した品質であることも重要であった。

検証を行うと、他社製品では音声の遅延やノイズが発生することがあったが、LiveOnでは途切れのないクリアな音声で会話をすることができ、その**品質の高さと安定性も導入の決め手**であった。

LiveOnの導入により、離れた場所からでもリアルタイムに製品の様子を確認できるようになったことは非常に大きな成果であった。これまでは現場に行っても、担当外の内容であれば持ち帰って確認という手間が発生していたが、LiveOnであれば離れていてもその場ですぐに指示を出すことができる。それにより、**情報共有や指示伝達のスピードアップ**だけでなく、**業務効率化**にも繋がっている。

## 株式会社日本触媒 様

### 拠点間の情報共有が活発化 海外拠点・取引先との打ち合わせにも利用



大阪本社・東京本社以外に、姫路・川崎・吹田・筑波に拠点・研究所があり、特に研究担当者同士の打合せでLiveOnを多く利用。

また、海外にも生産拠点が有り、海外との打合せや海外取引先との会議でも活用。



ハード型のTV会議システムを利用していたが、利用頻度が高くすぐに予約が埋まってしまう状況であったため、もっと手軽に場所を選ばず利用できるWeb会議システムの検討をスタート。

Web会議システムの検討は様々な製品と比較、検証を行い、「LiveOn」を選定したポイントは以下の通り。

- ① **種々の拠点と会議をした結果、品質が一番安定していた**
- ② **他の製品に比べると音質がクリアだった**
- ③ **ランニング費用が安かった**

## 株式会社ニデック 様

### 全社間での情報共有化、コミュニケーションの向上や出張費の削減に成功！



本社営業部門と各支店間の出張費削減などを主な理由に導入。2010年から本社地区の各工場および東京事務所でもLiveOnが活用できる環境を整え全社展開。

これまで本社地区の社員のみが参加していた年始に実施する「仕事始め式」や「朝礼」「研修」に、本社地区以外の社員も参加できるようになり、**情報の共有化、コミュニケーションの向上を図ることに成功。**また、海外子会社との定期的なミーティングや遠隔セミナーが可能となり、**電話代や出張費のコスト削減にも。**





一般社団法人 長崎県医師会 様

長崎県内の医療ITネットワークである  
“あじさいネットワーク”のサービスのひとつとして活用



<長崎県医師会での会議の様子>  
この日は大村市や諫早市、五島列島、壱岐島からもLiveOnで参加

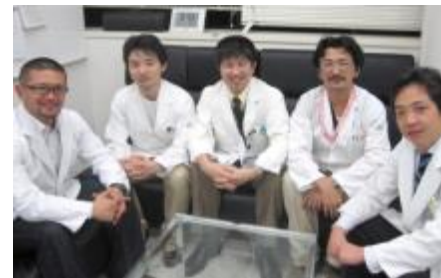
「会議」や「講演会」「動画配信」等のコンテンツを会員向けに提供。

長崎県下の医師会で行われる会議をLiveOnで実施したり、医療従事者向けの研修会を離島に配信する等、いままで1ヶ所に集まっておこなっていた事をLiveOnの利用に切り替えている。

ハード型のTV会議システムからソフト型のWeb会議システムまで様々な会議システムのプレゼンを受け、品質、コスト、提案力（開発力）から3社にまで絞り込んだが、その中で**音声品質、自社開発で柔軟なカスタマイズが行える事が決め手となり、LiveOnを選定。**

東京慈恵会医科大学付属病院 様

医師同士のミーティングを中心に利用  
解剖の様子を配信しながらの質疑応答にも活用



主に医師同士のミーティングに利用。  
今回は、鴻信義准教授を中心とした耳鼻咽喉科医師チームで、標本を用いた鼻科および耳科手術の解剖実習を開催。

その際に解剖の様態をLiveOnで配信しながら、他の関連病院の耳鼻科医師と質疑応答などを行い、各医師のスキルアップを図る。



（画像には一部ぼかし加工を施してあります）

## 株式会社オプテージ 様

スマートグラスとLiveOnで、現場の映像を事務所でリアルタイム共有！



これまでは現地に赴いて行っていた工事立会・検査を、LiveOnとスマートグラスを用いて遠隔で実施している。

管理者側は現場作業員が装着したスマートグラスを通して、現場の状況を事務所から確認。また、設備の停止などを伴う作業がある場合は、その箇所の確認や指示もLiveOnを通して事務所から遠隔にて行っている。

LiveOnは通信の安定性はもちろんのこと、高精細な映像を送信でき、**遠隔でも正確な判断や支援が行える品質**であった。

採用したRealwear社のスマートグラスは、LiveOnとの親和性はもちろんのこと、操作性・スペック・バッテリーの持続など様々な面で最も評価が高い点が導入の決め手となった。

## 株式会社JR西日本ITソリューションズ 様

JR西日本グループ向けのWeb会議サービスとしてLiveOnを採用！



JR西日本グループのIT専門会社として、グループ会社向けに様々な標準サービスを提供している。その中でLiveOnをグループ会社向け標準Web会議サービスとしてラインナップに加えた。

選定においても最も重視したことは、“低帯域な環境下であっても安定した品質で使用できる”という点。**複数社の製品を検討したが、最も品質が安定していたのがLiveOnであった。**

選定段階において実施した40拠点同時接続のデモンストレーションで、同時に会話をしても音声途切れることなく、LiveOnの品質と安定性を実感したことが決め手となった。

## 株式会社高島屋 様

海外・全社全店でフル活用！  
TV会議更新よりも低コストで切り替えを実現

海外及び子会社・関連会社を含めた定例会議、全店的な各種会議や各部のミーティングに至るまでLiveOnをフル活用。

当時使用していたTV会議システムが老朽化により不具合が多くなったため、更新を検討。

LiveOnは20拠点と接続数が大きだけでなく、TV会議の更新よりも低コストでスタートでき、その分ID数を増やすことで使い勝手が格段によくなることを予測できたことが選定の決め手に。

その他にも下記の理由によりLiveOnを選定した。

- ① **緊急の場合、PCの繋がる所で参加出来る機動性**
- ② **色々な会議体に合わせて専用会議室を簡易的に設けられること**
- ③ **海外でも簡単に調達可能な部材で構成されていたこと**
- ④ **社内LANを使用した資料共有が簡易に出来ること**
- ⑤ **極力シンプルな仕様でかつ手厚いサポート提供があること**

## 名古屋トヨペット株式会社 様

100拠点の同時表示を実現！  
品質の安定性と自社開発製品であることが決め手に

取締役会、営業会議などの定例会議での利用のほか、朝礼や各店店長への指示出し、入社式や新年始業式の配信、予算や制度変更等の全社向けの説明会など会議以外のコミュニケーションツールとしても幅広く活用。

導入にあたっての最大の課題は、「接続する100拠点の映像を同時に表示できるか」「多拠点接続でも品質が安定しているか」ということであった。

LiveOnでは**100拠点同時表示が実現でき、多拠点を接続しても音声の途切れや遅延がないという品質の安定性を確認できたことが決め手に。**

また、様々な利用シーンやデバイスに対応でき、**利用方法が簡単であったこと、他社と比較しても費用的に優位性があったこと**も選定のポイントに。

LiveOnは製品品質の良さだけでなく、要望への迅速かつ柔軟な対応にも大変感謝しており、サポート面でもとても安心できた。



## トヨタホーム株式会社 様

**決め手は使いやすさと安定した通信！  
社内、社外問わず様々なシーンで活用、  
今ではなくてはならない必須ツールに。**

役員会議や工場間の打合せ、営業部門のミーティングなど利用シーンは多岐に渡っており、**毎日のようにLiveOnの予約が埋まるほどの必須ツールにまで発展。**

会議以外にも、全拠点に入社式の様子を中継配信したり、システムの説明会などの用途にも展開。

また、招待機能を利用して社外とも接続したり、インドネシアの現地法人ともLiveOnを利用している。

Web会議システムの検討にあたり、**5社ほど比較・検証を実施。**

その中でLiveOnを選定した一番のポイントは、**他の製品に比べて海外拠点と繋がりやすく、通信が一番安定していたこと。**

また、**初回利用時のダウンロードも簡単であったこと、機能の操作も簡単で使いやすく品質面も安定していたこと**、それに加えて**ランニングコストも安かった**のでLiveOnを選定した。

## 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 様

**スマートグラス×LiveOnでロープアクセスの点検  
現場を遠隔支援  
情報共有のスピードアップと現場⇔オフィスの連携を  
実現！**



ロープアクセス手法を用いる現場において、スマートグラスのRealwearとLiveOnのウェアラブルアプリを組み合わせ、遠隔現場支援やOJTで活用。

LiveOnはスマートグラスにインストールすれば**電源ON以外の操作が不要**であることに加え、**河川や山間部などの環境下でも安定した品質で音声・映像のやり取りができる品質の高さ**も大きなポイントであった。

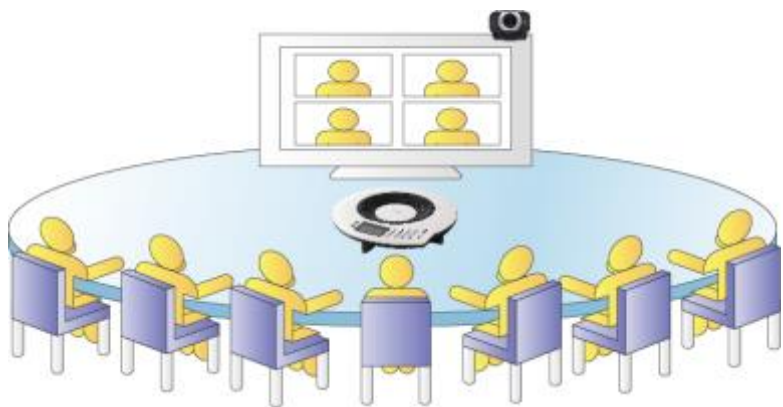
作業中に無線を取り出さずに会話ができるため、作業時間の短縮に繋がっている。また、常に複数の現場とオフィスが映像と音声でリアルタイムに繋がっているため、オフィスから簡単に現場の状況を確認することができ、情報共有のスピードも格段に速くなったと感じている。



## 某中央省庁 様

本省と47都道府県の各拠点と接続し、以下の会議を実施。

- ・幹部会議
- ・拠点間同士のブロック会議
- ・全拠点（本省+47都道府県）を繋いだ全体会議



Logicool製Webカメラ（C615）、YAMAHA製マイクスピーカー（PJP-50USB）を全拠点に常設。

多拠点、多人数での利用が出来るため、**交通費・宿泊費・人件費・移動時間など出張に伴う各種コストを大幅に削減。**

従来、人数分の資料を印刷する必要があったが、「LiveOn」を利用することにより、Web上で会議資料や動画を共有・閲覧・編集が出来るようになり、今まで発生していた印刷コストや資料配布の手間を削減。

## 国土交通省国土地理院 様

遠隔会議、また緊急時の連絡ツールとして34拠点をつなぐ会議に利用。

## 秋田県庁 総合防災課 様

防災ヘリにWeb会議用機材（ノートPC・モバイルカード）を搭載し、災害時に被災地の状況を本部ヘリアルタイムで配信。



## 経済産業省 北海道経済産業局 様

知的財産分野では全国初のWeb会議システムを備えた知的財産相談窓口、「北海道知的財産情報センター」のサテライトを北見・帯広・函館に開設し、札幌センター相談員がLiveOnを通じて、企業等から知的財産に関する相談に無料で応じるサービスを開始。

従来、地方在住者は電話か直接札幌に出向くなど不便だったが、LiveOnの導入により、各サテライトにてホームページや書類、製品等の映像を映し、双方で確認しながらの相談が可能に。

## 三鷹市教育委員会様

### 三鷹市立東台小学校とシンガポールの小学校を結んだ交流授業にLiveOnを活用

#### ■ 三鷹市国際共同授業プロジェクト

三鷹市教育委員会様では三鷹市国際共同授業プロジェクト ICCP(International Collaborative Classroom Program) を年に1回から2回、実施。LiveOnを使って、三鷹市立東台小学校とシンガポールの小学校とを結び、国際交流授業を開催。



## 総合学園ヒューマンアカデミー様

### 北海道から沖縄まで全国8箇所の地方会場へ配信しバーチャルセミナーを実施

#### ■ 次世代クリエイター養成講座

日経エンタテインメント！様主催、総合学園ヒューマンアカデミー/ヒューマンリソシア株式会社様共催のイベント「次世代クリエイター養成講座」にて活用。プロのクリエイターが講師となり、ゲームやアニメに興味があるクリエイター志望の学生向けにクリエイターになるために必要な事などを指南するもの。



## 秋田県 総合教育センター 様

「どこでもLIVEサポート」と名付け、各小学校や高校同士を接続し、交流会などを実施。

美郷町立仙南東小学校と美郷町立仙南西小学校



韓国慶南高校と大館国際情報学院高校



## 山形県 総合学習センター 様

山形市内の小中学校間の交流・先生同士の連絡・打ち合わせ、交流授業などに利用。  
また、特別授業として長崎原爆資料館からの遠隔講義などを開催。



## 株式会社総合進学セミナー 様

「ワールドワイドチューターズ」というLiveOnを使用した日本トップクラスのプロ講師による個人授業システムに利用。  
海外赴任しているご家庭のお子様に対して、帰国後早期に日本の教育レベルに付いて行けるよう、日本から遠隔にて家庭教師による個別レッスンを提供。また、国内遠隔地の塾通いが難しい生徒さんへの個別指導にも利用。

## オンライン家庭教師 e-Live 様

e-LiveではLiveOnを利用し「オンライン家庭教師」を提供。  
教え子の現在大学生達がe-Liveの講師となり、後輩の小中学生に対して個別指導を行う。LiveOnを利用することにより、静岡県の小中学生が同じ静岡県出身で現在東京大学等に通っている講師に教えてもらうといった今までに出来なかった個別指導が可能に。地元が同じ講師、将来の夢が同じ講師などを紹介することにより、地域づくり・未来づくりに貢献。



## 聖心女子大学 様

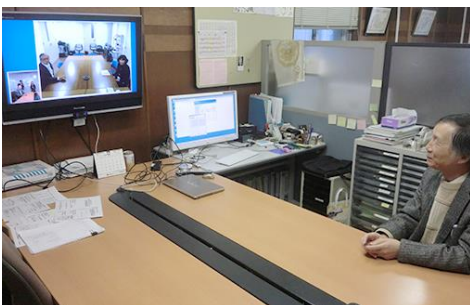
### 姉妹校と連携し様々な活動に利用 ポイントは、音声が途切れないこと

留学生の日本体験スピーチを札幌の姉妹校に中継。  
他の2姉妹校からもモニターでき、臨場感もあって評判は良好であった。



また、姉妹校との接続だけでなく、研究仲間との小サイズの会議にもよく利用している。

今後はiPhoneやタブレット端末での運用を検討。  
また、大学では遠隔コミュニケーションシステムを利用した改革に関する研究プロジェクトも立ち上がろうとしている。



## 専修大学 様

「リアルタイム共同授業」に利用。  
専修大学と海外の大学をLiveOnで繋ぎ、同じテーマについてそれぞれが調べたことを発表しあった後で、ディスカッションを行う。

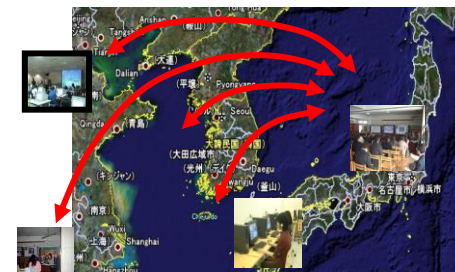


文部科学省の「サイバーキャンパス整備事業」として選定され、これまで韓国・檀国大学、イタリア・ヴェネチア大学、韓国・大田大学などと共同授業を開催。

## 東北大学 様

他大学との共同授業や研究会等に活用。  
「日本語学研究室」では、海外に学生を派遣し、現地で日本語を教えに行くカリキュラムにおいて、現地と国際交流を行っている。

海外学生と母校の教授・学生とのコミュニケーションが図れ、双方でモチベーション向上に繋がった。



## 日本赤十字社 様

国内、海外を問わず施設間での情報伝達に活用  
災害時には被災地との連絡にも使用



国内・海外の施設間とのやり取りをはじめ、被災地との連絡にも活用。スイスのジュネーブにある国際赤十字・赤新月社連盟の事務局とも、「LiveOn」を利用し活発な意見交換を実施。

「LiveOn」を導入したことで、電話、メールなどの音声や文字のみの情報伝達に比べて、**職員間のコミュニケーションが向上し円滑になり、情報伝達の活性化が図れた。**

また、本社や主要都市で開催する会議、打合せを「LiveOn」に変更することで、**旅費などの経費が削減され、移動時間の短縮による効率化も実現。**

Web会議システムを選定するにあたり、利用者の環境に左右されることなく安定した通信を行うため、次の3つの機能を持っているシステムを選択した。

- ① **通信回線の瞬断時に自動回復する機能**
- ② **音声をデジタル信号に変換する高周波数(32KHz)採用により高音質を保持する機能**
- ③ **利用者の端末に特別なソフトウェアをインストールせず動作する機能**

## 袋井商工会議所 様

各駅の混雑状況や会場周辺の様子などを  
リアルタイムで確認



静岡県袋井市で行われた「全国花火名人選抜競技大会ふくろい遠州の花火2013」にて、大会本部から各駅の混雑状況や会場周辺の様子などをリアルタイムで確認できるよう「LiveOn」を活用。



## 東京商工会議所 様

『Withコロナ時代』の新しい展示会形式！  
 展示した自社製品の説明をオンラインで行う、「ハイブリット型展示会」でLiveOnを活用



LiveOnのコール機能を活用し、出展者がブースに常にいるのではなく、オンライン越しで待機する「ハイブリット型」で展示会を開催。

LiveOnのコール機能は、画面上に表示したメニューから電話のようなイメージで相手を呼び出すことができ、出展者は呼ばれたときにだけ応答するという形で待機ができる。常時待機しておく必要がないため、出展者にとっても負担が少なく、このコール機能が求めていた機能そのものであったことが選定の決め手となった。

オンラインでもスムーズに会話や商談が展開されており、Withコロナ時代に即した新しい展示会の形を実現できた。

## 弘前商工会議所 様

青森県弘前市「りんご公園」と「東京ビッグサイト」を  
 接続したイベントを実施

2013年2月6日（水）～8日（金）までの3日間、東京ビッグサイトにて行われた「feel NIPPON 春 2013」にて青森県弘前市の「りんご公園」と「東京ビッグサイト」を接続したイベントを実施。



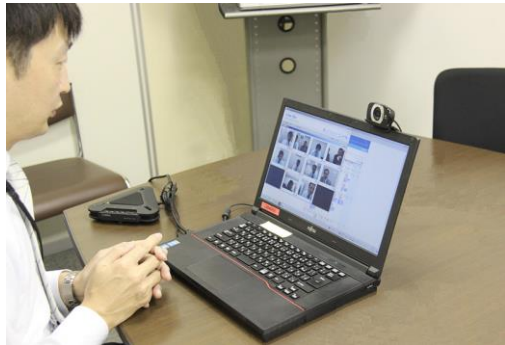
## その他

- 一般財団法人カケンテストセンター様
- 公益財団法人原子力安全研究協会様
- 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会様



## 株式会社南都銀行 様

全拠点(137拠点)へ専用端末を設置し、  
本部～営業店間での研修や営業店間の会議で活用



2015年8月に全拠点(137拠点)へ専用端末設置を完了し、本部～営業店間での研修・説明、営業店間の会議への活用を開始。

10月には**動画視聴(VOD)**を追加し、機能拡充を実施。

本部の一部でTV会議システムを利用しており、こうした仕組みが離れた拠点間の会議等の効率化に大きな効果をもたらすことは認識していたが、高コストでもあり、全店導入は現実的ではなかった。

そのような中、業務効率化や経費削減の観点からLiveOnに注目し、**様々な利用シーン(BCP・顧客相談業務など)への活用も可能な自由度の高さが決め手**となり、導入に至った。

導入システムの比較検討を行う中で、**LiveOnの品質(画像・音声・使用感)は他社製品に比べ秀でていた。**

導入後、実際に使用した行員からも評判は良く、選択に間違いはなかったと感じている。

また、ユーザーから要望の多い機能改善項目をアップデートしていくなど、サポート面も充実しており、期待している面でもある。

## その他金融機関

- 青森銀行様
- 旭川信用金庫様
- 大垣共立銀行様
- 岐阜商工信用組合様
- 沖縄海邦銀行様
- 島根中央信用金庫様
- きらやか銀行様
- 留萌信用金庫様
- 京葉銀行様
- 東海労働金庫様
- 山陰合同銀行様
- 四国銀行様
- 常陽銀行様
- 仙台銀行様
- 大樹生命保険様
- 千葉銀行様